JARL登録クラブ番号 10－4－68　replace [(a)] with [@]↓
発　行　JA5CUX　生越 重章　(kcj-c(a)kcj-cw.com)
編　集　JL3BDA　水田 政宏　(thekey(a)kcj-cw.com)
印刷発送　JA9CZJ　松盛 裕吉
配　信　JH3HGI　吉村 豊樹
レポート管理　JA2OLJ　岩川 吉伸　(kcj-rpt(a)kcj-cw.com)
会員部　JR3KQJ　中島 昌己　(kcj-mem2(a)kcj-cw.com)
会　計　JO3OMA　長井 浩輔　(kcj-acnt(a)kcj-cw.com)
郵便振替口座　00860－1－13444　名義：全国ＣＷ同好会
ＫＣＪホームページ　https://kcj-cw.com/

【KCJブースへようこそ!!】

【KCJのご紹介】

私たち『KCJ（全国CW同好会・Keymen's Club of Japan）』はCW QSOを通じてお互いの友情を温めあい、同時にCW通信技術を高めるために努力しています。CW同好会が、将来ただの［CW保存会］になってしまうことを嘆く声も聞かれます。しかし、それが死んで博物館に置かれるような保存ではなく、その電波が原始的ではあるが、確実な通信の手段として世界を飛びまわっている［動態保存］であれば、これは愉快なことではないでしょうか。そのためにも、本会は"下手の横好き"の会ではなく、"好きこそものの上手"の会になるべく努力を積み重ねたいと思っています。

略称のKCJ（Keymen's Club of Japan）には、メンバーの一人ひとりが良きCWマンであり、同時にアマチュア無線界のKey stoneを守る人物でありたいという願いが込められています。

CWは通信の原点であり、電波が存在すれば、それを断続するだけで通信ができ、もっとも単純でありながら、もっとも確実な通信方法です。電波が飛んで行く、通信ができるというアマチュア無線の根底にある素朴な興味を満足させてくれます。いっときの興味でアマチュア無線を始めたり、その中でCWも一つのモードとして関心をもったりというだけでなく、通信の原点であるCWが大好きで、CWを生涯、腕を磨くテーマの一つにしようという考えの方々を本会は歓迎しています。

本会への入会をご希望の方は本紙4ページまたは「KCJ公式ホームページ」をご覧ください。
(https://kcj-cw.com/)

【KCJの沿革】

- 1976年 9月：設立総会（名古屋市）会員62名で発足
- 1977年 9月：KCJAアワード発行開始
- 1979年10月：都道府県略称制定
- 1980年 8月：第1回KCJコンテスト開催
- 1980年10月：JARL登録クラブ(#10-4-68)となる
- 1985年 2月：第1回トップバンドコンテスト開催
- 1986年10月：10MHz QSO Festival開催（2000年5月迄）
- 1995年 7月：第1回KCJ VHF&UPコンテスト開催（2002年迄）
- 1997年 5月：公式ホームページ開設
- 2000年 4月：初のDX友好会員を迎える
- 2001年10月：KCJA-meアワード発行開始
- 2004年 9月：JARLコンテストのドナーとなる
- 2005年 8月：ハムフェア初参加
- 2006年 9月：第16回総会（吹田市）設立30周年 会員163名
- 2007年 6月：KCJ設立30周年記念QSOパーティー開催
- 2009年 8月：KCJコンテストにマルチオペ部門を新設
- 2011年 2月：クラブ局 JR8YLYを開設
- 2011年 8月：東日本大震災に際し有志から募金を募り日本赤十字社に寄付
- 2015年9月 ：創設40周年記念行事開催～2016年9月
- 2016年 2月：OAM再開　7.018MHz±QRM
- 2016年 9月：第21回総会（花巻市）設立40周年 会員222名
- 2018年 5月：会報「ザ・キー」創刊500号達成
- 2019年 12月：会員297名（含むDX会員14名）

Members activity report (2019 Nov)

今月の一言　　by JA2OLJ IWA

2020年　明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いします。
HF帯のCONDX　QRVが減ったのか、電波伝搬が良くないのか、7MHzでさえ数局しか聞こえない日が多いです。
その反面　FT8のクラスターUPが盛んにおこなわれています。また,SATも土日祝日にはド・パイルが発生し、凄いです。CQ誌12月号では、世界のCONDX状況の基準となる電波形式がCWからFT8に切り替わっています。
CWにのみこだわらず、色々とやってみることも必要かなと思います。

AJA	Total	1.9	3.5	7	10	14	18	21	24	28	50	144	430	1.2	2.4	SHF	SAT	UP	前回
JR3KQJ	19290	1622	1620	1622	1627	1625	1618	1618	1604	1575	1241	715	611	438	173	159	1422	0	1910
JA8AJE	13479	1026	1486	1593	1610	1526	1378	1371	1148	1169	1146	21	5	－	－	－	－	15	1909
JA2MYA	12368	1525	1601	1626	1612	1303	1030	906	657	600	559	413	140	35	－	－	361	31	1910
JA2OLJ	11676	1398	1556	1583	1568	1015	1029	863	652	569	679	333	287	68	－	－	76	0	1910
JH1NXU	9887	904	1457	1637	1063	643	731	809	487	531	764	385	325	150	－	1	－	244	1810
JH3HGI	8634	550	1185	1537	1449	749	749	573	466	384	283	125	74	12	－	－	498	0	1910
JG8NKJ	7337	104	918	1270	914	1117	654	958	408	464	526	4	－	－	－	－	－	533	1910
JE0JAO	6384	176	666	1489	1477	928	398	555	144	169	277	96	9	－	－	－	－	47	1910
JH1XUP	5768	10	874	1022	1236	590	268	364	231	231	574	209	159	0	0	0		55	1910
JL1BHN	4527	123	900	1383	494	251	325	273	93	83	249	179	155	19	－	－	－	28	1909
JL1CGT	3785	4	810	1017	513	142	269	338	183	92	169	140	108	－	－	－	－	0	1910
JA2FEA	3094	－	1	1269	748	291	342	144	142	54	1	64	38	－	－	－	－	86	1909
JR3XUH	3052	101	437	1422	544	124	23	118	20	23	238	2	－	－	－	－	－	80	1908
JR0RBY	2949	3	17	742	299	370	139	349	39	132	514	338	7	－	－	－	－	144	1910
JM7GTK	1604	87	223	713	130	157	51	81	42	73	46	1	－	－	－	－	－	67	1910
JA3VOV	1238	99	218	558	22	24	10	32	5	150	60	60	－	－	－	－	－	0	1910
JJ1CWR	1140	0	145	679	162	34	54	33	15	18	－	－	－	－	－	－	－	35	1906
JR0ECQ	902	－	154	524	21	114	14	43	9	23	－	－	－	－	－	－	－	57	1910
7M3SKC	509	10	159	307	27		5	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	13	1910

DXCC	Total	1.9	3.5	7	10	14	18	21	24	28	50	144	430	1.2	2.4	SHF	SAT	UP	前回
JA2OLJ	2476	103	185	312	268	330	308	312	305	268	53	1	1	1	－	－	29	3	1910
JH1XUP	1870	2	88	224	244	306	245	293	208	217	43	0	0	0	0	0	－	0	1910
JA2MYA	1601	10	118	172	176	285	203	246	189	181	13	3	－	－	－	－	5	0	1910
JR3KQJ	1212	55	96	134	153	184	145	158	104	112	24	4	1	1	1	1	39	0	1910
JR0RBY	1025	1	1	131	125	221	109	207	30	179	19	1	1	－	－	－	－	20	1910
JG8NKJ	962	3	52	117	72	234	122	186	70	97	8	1	－	－	－	－	－	4	1910
JA2FEA	874	－	1	108	131	165	140	154	67	105	1	1	1	－	－	－	－	19	1909
JL1CGT	612	1	15	42	25	114	68	151	90	101	3	1	1	－	－	－	－	0	1910
JH1NXU	565	9	20	57	9	73	97	113	96	79	12	－	－	－	－	－	－	8	1811
JA3VOV	555	4	20	93	50	151	50	109	16	57	3	1	1	－	－	－	－	5	1910
JH3HGI	437	2	9	45	63	86	64	59	46	51	2	1	1	1	－	－	7	0	1910
JR3XUH	402	2	16	188	25	76	3	72	2	6	11	1	－	－	－	－	－	16	1910
JM7GTK	88	3	2	18	7	31	7	11	2	5	1	1	－	－	－	－	－	0	1910
JE0JAO	82	1	4	8	5	16	6	23	4	8	5	1	1	－	－	－	－	0	1910
JR0ECQ	59	－	1	21	1	14	1	17	1	3	－	－	－	－	－	－	－	15	1910
7M3SKC	6	1	1	1	1		1	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0	1910

【会員投稿】
【モールス符号の変遷】

JG8NKJ　土井　正敏

モールス符号の変遷に興味をお持ちの非会員から問い合わせがあり、興味半分で調べてみたら、面白い情報を得たのでご紹介します。

当局が調べた限りでは、安岡孝一と言う京大の学者が色々と調べて整理したもののようです。内容は素人が余計な口を挿むと誤解のタネを撒くことになるので、下記をアクセスしてお読みください。

http://kanji.zinbun.kyoto-u.ac.jp/~yasuoka/publications/Morse.html

当たり前の如く使用しているモールス符号も色々な変遷を経て現在の形になっていることを知りました。考えて見れば、モールス符号の構成をどのようにするかはそうたやすく決められない訳で、変遷と言うよりも紆余曲折を経たと言った方が良いのかも知れません（っと、つい余計な

ロを挿みました SRI！）。

調べている最中に、皆さんがお使いのキーボード配列の話も知ったので付け加えておきます。左上にキーが QWERTY と並んでいるのが、標準になっていますが、これを「クワーティ配列」と言うそうです。左上の 6 文字を取ってこの呼び名が付けられたそうです。長年、コンピュータに関わりましたが名前が付いてことすら知りませんでした。

興味のある方は「QWERTY」で検索すると Wikipedia 等の説明サイトが見つかります。

QWERTY 配列が標準になった経緯は、VHS と Betamax の争い同様、企業競争が絡んでいて、QWERTY 配列が規格的に優位であったか否か？これは検索結果をお読みいただいてのお楽しみと言う事にします！Hi

【CWer のためのアワード『KCJA』のご案内】

（ Keymen's Century of Japan Award ）

※ KCJA の基本規約は次のとおりです。

☆日本の 1 都道府県とのモールス符号を使用する電信による交信で得た QSL を 1 点とし、下記の規定の点数を得ることにより発行される。
ただし 1 バンドにおいては、1 都道府県との交信は 1 回に限るものとする。

100 点　・・・　KCJA　Class100

さらに、上位賞を下記単位で設定し、ステッカーを発行する。

100～400 点まで・・・・・50 点増加毎
400～600 点まで・・・・・25 点増加毎
600 点以上　・・・・・10 点増加毎

KCJA の規約詳細および特定申請用紙は
〒964-0203　福島県二本松市木幡字塩之沢 162
氏家一男（JH7FQK）に SASE で請求、または KCJ 公式ホームページからダウンロードして下さい。

【CWer のためのコンテストのご案内】

KCJ では CW に特化した以下の 2 つのコンテストを実施しています。コンテスト規約は KCJ 公式ホームページをご参照ください。

※ KCJ トップバンドコンテスト（毎年 2 月）

1.9MHz帯に限定し、1985年に開始したコンテストです。当時のJARLコンテストは1.9MHz帯が含まれており、狭いバンド幅で大混乱が発生、のちに廃止となってしまいました。

そこで、KCJでは規約の工夫やマナーの啓発を行い、1.9MHz帯でコンテストが可能と立証してきました。現在も、DX局や不参加局が共存できるように配慮しています。
毎年2月の第2土・日に開催しています。

※ KCJ コンテスト（毎年 8 月）

1980年に第1回を開催しました。当時のコンテストは提出ログを並べ替えるだけでしたが、(1)個人局電信部門に限定し、(2)提出ログを全数照合して、双方の記載内容が一致した場合に限って得点を与える、という手法を最初に考案、実施しました。毎年 8 月の第 3 土・日に開催しており、2019 年は 40 回目の開催でこれを記念して QRP 部門を新設しました。

この 2 つのコンテストではコンテストナンバーに、当会が制定した以下のアルファベット 2 文字の都府県振興局略称および大陸名略称を使用しており、非常にスピーディーなコンテスト QSO が楽しめます。

なお、この都府県振興局略称および大陸名略称は他のいくつかの CW コンテストでも使用していただ

いております。

宗谷総	SY	留萌	RM	上川総	KK	空知総	SC	石狩	IS	根室	NM	後志総	SB		
十勝総	TC	釧路総	KR	日高	HD	胆振総	IR	桧山	HY	渡島総	OM	オホーツク総	OH		
青森	AM	岩手	IT	秋田	AT	山形	YM	宮城	MG	福島	FS				
新潟	NI	長野	NN												
東京	TK	神奈川	KN	千葉	CB	埼玉	ST	茨城	IB	栃木	TG	群馬	GM	山梨	YN
静岡	SO	岐阜	GF	愛知	AC	三重	ME								
京都	KT	滋賀	SI	奈良	NR	大阪	OS	和歌山	WK	兵庫	HG				
富山	TY	福井	FI	石川	IK										
岡山	OY	島根	SN	山口	YG	鳥取	TT	広島	HS						
香川	KA	徳島	TS	愛媛	EH	高知	KC								
福岡	FO	佐賀	SG	長崎	NS	熊本	KM	大分	OT	宮崎	MZ	鹿児島	KG	沖縄	ON
小笠原	OG	南鳥島	MT												
アジア	AS	オセアニア	OC	ヨーロッパ	EU	北米	NA	南米	SA	アフリカ	AF				

【KCJ が主催するコンテストに参加される方にお願い！！】

既に承知いただいている方も多いと思いますが、ここでKCJのコンテストに参加いただく方に再度お願いをいたします。

KCJでは提出いただいたログを全て電子データ化して、互いに突き合わせを行い、一致したQSOデータにポイントを計上する、というシステムを取っております。したがいまして、コンテスト中にたとえ1局でもQSO(ナンバー交換)をされたら、ぜひログを提出くださいますようお願いいたします。

【KCJ への入会を希望される方へ】

入会申込書は会員担当に E-mailで請求願います。　KCJ公式ホームページからのダウンロードのほか SASE（長形 3 号封筒に宛先を記入して 94 円切手を貼付）を送って取り寄せも可能です。

請求先：　〒668-0821 兵庫県豊岡市市場 602-1

JR3KQJ 中島昌己　E-mail: kcj-mem2(a)kcj-cw.com　((a)は@に置換え)

入会申込書に必要事項を記入の上、会長まで郵送またはE-mailでお送りください。

申込書送付先：　〒771-1251 徳島県板野郡藍住町矢上西 149

JA5CUX 生越重章　E-mail: kcj-c(a)kcj-cw.com　((a)は@に置換え)

役員会で承認された後、入会金 600円を納入していただくと、正式に会員になります。

本会の年会費は1,200円ですが、繰越金の解消のために現在は隔年会費としており、入会後は会計からの案内に従って会費納入をお願いします。

【第22回　KCJ総会】

【7/20～7/21　2019関西ハムフェスティバル】

【8/31～9/1　ハムフェア2019】

【各局短信】（2019 年 11 月末現在）

※ 7M3SKC：コンディションに波があるように、私自身にも波があるようで、移動に行けていないです。

※ JA2MYA：今月はギックリ腰で動けず、5日間運用出来なかった、残念!

※ JA2OLJ：SATへ20数年ぶりにカムバックしてからのQSLカードが、JARLより11月分にて到着。AJAが少しだけUP! 普段はweekday運用が多いですが、何時もお馴染みさんばかり。日曜・祝日には移動局のお馴染みさんが出現。最近になってCALSAT32にも慣れてきて、数10Hz以内で受信をセットできるようになり、145MHz帯の受信アンプも稼働開始。美浜町からはSAT運用が主体になりそうです。（受信固定でやっています）

※ JA3VOV：(先月から続き)敷地内に収まらない3.5メガ短縮アルミパイプアンテナ。隣家にはみ出す部分をベントダイポールにする。昔、アルミパイプは、パイプに砂を詰めて曲げたものだ。今回手配した曲げる工具「チューブベンダー」は便利である。とある日曜日に作業を始めた。パイプ径は16ミリ。廃棄するパイプを曲げてみる。結構力が要った。本番では、ゆっくり力をかけて90度に曲げていく。上手く曲げられた。そのパイプをVPコイルの後に接続する。高さ5メートルに上げ、アナライザーで同調点を見ると3.5メガでディップしている。まずは成功。

※ JA8AJE：7MHzと10MHzだけではAJAが増えませんので、いよいよ3.5MHzと1.9MHzを本気で頑張らなければなりません。その第一弾として、受信を改善するためEUのハムが開発したMini whip を手に入れました。ベランダからちょっと突き出しただけで10メータ釣竿アンテナと同じぐらい聞

こえます。Mini whipといっても数センチの金属板らしいので、信じられない感度です。ベランダから数メーター離せばもっと良くなるとのことで楽しみです。

※ JE0JAO：冬ごもりの季節となりました。3月末までジッと我慢の子です。

※ JG8NKJ：短縮3.5DPでDL WKD、雑魚扱いですがNEWですHi。VY1AAAがPILE、ZONE 2を期待したが1でWAZ増えず！PJ5を追いましたが14CWは深夜(丑三つ時？)で眠くて身が持ちませんHi Lowは聞こえないし！WW CWでEU方面SP/LPのハウリング状態を聞きました！何時以来だろうか？久しぶりです。

※ JH1NXU：1年振りのレポ～トです。2020年も宜しくお願いします。

※ JH3HGI：2019年12月8日現在、2019年中のQSO数を簡単に集計してみました。全QSO数は4,738、その内CWでのQSO数は3,043、CW率は60%。この率は､5～6年前では考えられない数値です Hi (2014年は 約96%)また､移動運用でのQSO数は2,038､移動運用率は43%。一年間の半数近くが移動運用でした。2020年から2年ほどは自治会の役員（2つ）を務めるため、無線に割ける時間がかなり減りそうです（涙）

※ JJ1CWR：久しぶりのRPTです。30年前に購入したJRC（JST-135D）が再起不能に！思い出深いRigだけに(悲！)大切にラックに飾っておきます。＊FT-991Aを新調しました。これでまたOAMに参加できます。KEYジャックが正面にあるのがFB！欧文はMK-706エレキー、和文はHK-702ストレートキーと抜き差しで使用できます。Good！（強調したい場合、どうしても相手局に取ってもらいたい場合は、ストレートキーで打電しています.）PS:第40回KCJ TEST（21MHzシングルバンド）の賞状TNX！(入会して1年目でいただけて嬉しいです。)では、SEE YOU NEXT ON THE AIR！GL73＆88！DE JJ1CWR/ZOU EE

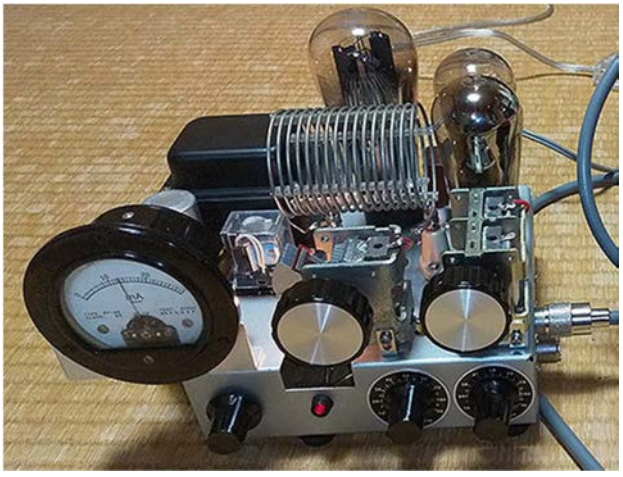
※ JM1HUX：月日の経つのは早いもので、12月になり、傘寿を迎えました。この一年、QSL カードに賀寿年齢を記入することにしました。Hi hi hi ・・・

※ JR0ECQ:マルチバンドのモービルホイップ1本で、CQ WW DXコンテストに参加しました。交信相手のほとんどがスーパーステーション。相手局の力をお借りしました。トータル80交信で、最遠は7MHzのイタリアでした。

※ JR0RBY：WW-CWではバンドニューがいくつか増えました。コツコツやります。3.5MHzのアンテナを設置しました。OAMに出られるかもしれません。

※ JR3KQJ：WW CWは雑用の合間の細切れ参加でしたが、27万点程でKCJにエントリーしました。21MHzでZone3が1局QSOできましたが、後何年待ったら28MHzで東海岸が聞こえてくるか?

※ JR3XUH：WWコンテストを横目に、QRPpの、ナス管送信機を作りました。227⇒112Aの2ステージで、227で水晶発振させると1.5Wくらいの出力が得られます。ただ水晶では使用機会が限られるので、FT-401を親機としてトランスバータ出力をもらう構造にして、500mW以下に絞って使っています。コンディションがよくないですが、6や8含め、この送信機で7局とQSOしました。7025付近で時々出ています。カスカスと思いますが、聞こえていましたらよろしくお願いします。



※ VR2ZQZ：2019 WW CW コンテストに参加。Lamma 島、海抜 120 メータの山頂から 15 メータ用の自作 5 エレを 2 本、20 メータ間隔で建てました。オペ UT3GF、コールサイン VR2EH でした。2 本のビームを同一方向へ向けるとスタック効果があります。詳しくは、Youtube を見てください。
https://youtu.be/JDNC4DZ77tE
21MHz ローパワーで 2018、19 年の成績は、CQWW CW/SSB、CQ WPX CW/SSB でアジア 1 位もしくは 2 位、全世界一桁の入賞でした。

※ JL3BDA(編集人)：明けましておめでとうございます。会報の編集をJH3HGI 吉村さんから引き継いで1年になります。仕事帰りが遅くなる日や休日は息子の部活応援など限られた時間の中で少しずつ編集しながら、何とか月末配信に間に合うよう心掛けていますので、これからもよろしくお願いいたします。（完）